

「電源確保・配線が困難な場所でも盗難防止対策！ 長距離 AP とソーラーシステムで監視環境を構築」



概要

セキュリティコンサルティング事業を展開する株式会社アルファエンタープライズに、太陽光発電施設において、弊社のソーラーパネルシステム・長距離無線機器・セキュリティカメラをご導入いただきました。周辺に電源がなく、通信配線も困難な環境でしたが、長距離対応アクセスポイントとソーラーパネルを組み合わせることで、監視体制の強化を実現しました。

課題

- ・モバイル通信だと不安定な環境でランニングコストも掛かる
- ・カメラを設置したい場所に道路があり、配線が難しい
- ・カメラを設置したい場所に電源環境がない

導入製品

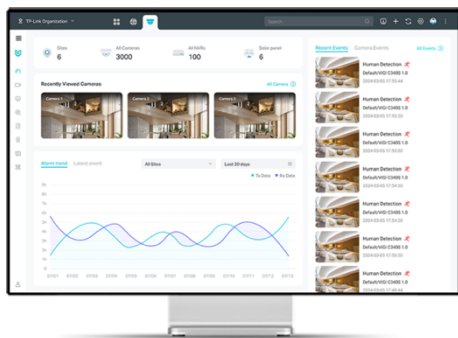
- ・ VIGI ソーラー給電システム
「[VIGI SP9030](#)」



- ・ VIGI 4MP 屋外用フルカラーデュアルレンズ可変焦点
パンチルトネットワークカメラ 「[VIGI C540V](#)」



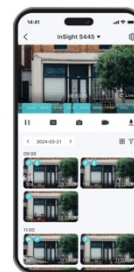
- ・ VIGI クラウド型映像監視システム
「[VIGI Cloud VMS](#)」

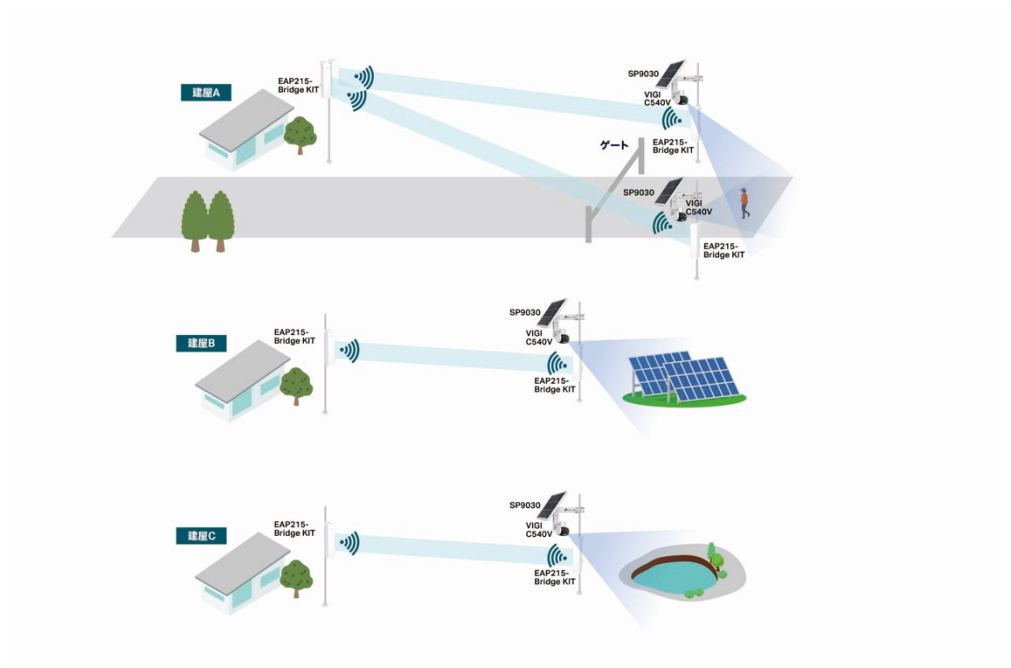


- ・ Omada 5GHz 屋内外対応
長距離 Wi-Fi AP 「[EAP215-Bridge KIT](#)」



- ・ VIGI アプリ
「[VIGI App](#)」





【構成のポイント】

電源・配線が難しい所に盗難防止用にカメラを設置

同施設では、侵入者によるケーブルや備品の盗難を防ぐため監視体制の強化が求められていました。しかし、現場には電源やネットワーク環境がなく、配線工事にも多くのコストがかかることから、長期間にわたって対策が進まない状況が続いていました。

そこで、TP-Link のソーラーパネルシステム「VIGI SP9030」を導入し、パンチルトカメラ「VIGI C540V」および長距離無線通信 AP「EAP215-Bridge KIT」へ給電を行う仕組みを構築しました。これにより、電源や通信インフラがない環境下でも、目的エリアの監視を実現することができました。

また、携帯アプリやクラウド監視機能を活用することで、夜間の盗難対策だけでなく、周辺を通過する車両や野生動物の確認も可能となり、防犯性と安全性の双方が向上しました。



ゲート前に設置されているソーラーシステムと長距離 AP



VIGI カメラが捕らえた夜間に徘徊する野犬の映像

担当者のコメント：

「距離が離れた場所の通信可否・夜の撮影・リモート監視など、本当に実現可能か懸念しておりましたが、デモ機を無償で貸し出しいただき、事前検証する事ができたのが購入の決め手です。」

▶▶ ポイント

- ★電源を事が出来ない環境には、「VIGI SP9030」(ソーラー発電システム)を使って、カメラおよび長距離無線への電源供給を実現
- ★配線が難しい環境には、「EAP215-Bridge KIT」を使い通信環境構築を実現
- ★不法侵入の監視や大雨の際に、調整池水位のリモート監視を実現

▶▶ さいごに

電源やネットワーク環境の確保が難しい場所でも、ソーラーパネルシステムと長距離無線を組み合わせることで、無人環境下の監視は十分に実現できます。

「電源がないから設置できない」などお悩みの方は、ぜひ一度ご検討されてみてはいかがでしょうか。

▶▶ お問い合わせ先

【一次販売店】

株式会社アルファエンタープライズ

TEL:03-5826-0555 E-Mail:security-center@alpha-e.co.jp (担当：白鳥様、白石様)

URL: <https://www.alpha-e.co.jp/company/>

【本導入事例に関するお問い合わせ先】

ティーピーリンクジャパン株式会社 (担当：鳥谷部)

TEL: 03-6806-0912 Email: sales.jp@tp-link.com

URL: <https://www.tp-link.com/jp/>